

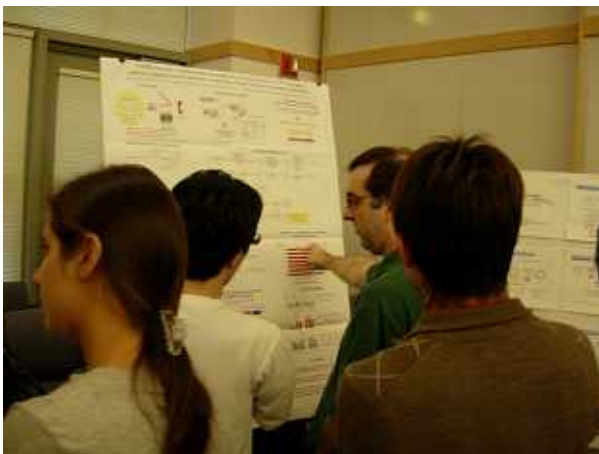
海外派遣報告書

理学研究科 化学専攻 生体分子化学研究室 D1 高野哲郎

派遣先：アメリカ・ワシントン大学

期間：2008年8月22日 9月18日

私はインテグレートッド大学院理学教育 BMC プログラムを利用し、アメリカ・ワシントン大学で開かれた『理工系大学院生のための海外研究発表研修コース』に参加させていただきました。この研修は、国際学会における英語での発表やディスカッションの能力向上を目的とするものです。研修の内容は、発表の組み立てや要点を明確にするための話し方などの講義、ワシントン大学の先生方の講演会、ワシントン大学の大学院生も交えてのポスター発表や口頭発表など多岐にわたっていました。休日は、ホームステイファミリーと過ごしたり、シアトルマリナーズの試合を観戦したりしました。



このプログラムを通じて、英語での発表に対する苦手意識はある程度克服できたように感じます。また、アメリカの大学院生は日本人と比べてディスカッションに非常に積極的であり、そうした姿勢に触れられたこともよい刺激となりました。本研修には BMC プログラムのほかに、GCOE プログラムを利用した基礎工学部・工学部からの参加者もあり、まったく異なる研究分野の学生と交流できたことも、とてもよかったと思います。

最後になりましたが、このような貴重な機会を与えてくださったインテグレートッド大学院理学教育プログラムの皆様はじめ、さまざまな面でお世話いただきました皆様に心より感謝いたします。

